

# 平成 2 1 年度 事業計画書

自 平成 2 1 年 1 月 1 日  
至 平成 2 1 年 1 2 月 3 1 日

## I. 事業方針

現在、大手保険会社 3 社の統合調整が行われています。保険会社の統合は数年前に一段落したかの感がありましたが、今年度は世界的経済危機を背景に更なるメガ化が進行しそうです。

統合が実際に行われれば、日本における従来からの保険会社はほんの一握りのグループ会社によって支配されそうな様相です。

こうしたメガ化については、保険会社の巨大システムの設備投資・維持費増加と自己資本の安定化および大手投機株主からの利益追求要請が背景にあります。メガ化が保険利用者や我々代理店にとってより良い保険環境整備かということについては大きな疑問があります。

金融業だけでなく多くの産業が、企業の合併や統合を繰り返し、経営者と株主の利益のために会社が生き残る、従業員や消費者軽視の手法となっております。

かつてのベンチャー企業の創設を国の活力とする声も今ではほとんど聞こえてきません。

消費者もその大半は、企業に雇用された従業員であることを考えれば、消費者重視の施策は企業従業員の生活経済基盤を重視した施策にも通じるはずで

す。さて、我々代理店に目を向けると、その多くは、自営業かあるいは自営業に類似した中小企業であり、自らが自らを雇う「自己雇用」に近く、経済としては非効率で自身に価値の源泉を求める経済活動の生き方となっています。そうした意味では、保険会社のメガ化と対極にあります。保険会社の経営方針と代理店の経営思考が相容れない原因がここにあります。しかし、どちらか一方のみが繁栄するかの対立関係ではなく、保険利用者の立場と保険業界の健全性を起点に代理店存続のための協同組合の役割を考え直す時期に来ています。保険代理店の金融サービス業としての役割を見直し、保険代理業の自立と経済的地位の確保に今年は取組んでいきます。

## Ⅱ. 事業計画

### 1. 共同受注の事業

- ① 自治体の関与する保険の募集
- ② その他団体への保険募集

### 2. 組合員のためにする事業資金の転貸事業

金融機関より資金を借入れ、組合員に事業資金として転貸する事業

- |         |               |
|---------|---------------|
| ① 借入れ先  | 株式会社 商工組合中央金庫 |
| ② 貸付利率  | 4.0%          |
| ③ 借入れ利率 | 3.5%          |

### 3. 全国保険代理業協同組合連合会が行政に対して行う請願、陳情への支援事業

### 4. 団体協約の締結

組合員事業に対する不当な行為に対して改善を申入れ、協約を締結する事業

### 5. 組合員に対する教育、広報、経営改善のためのセミナー開催等の事業

- a. 保険業界の動向および関連する事項について、各方面の専門家を招き各種セミナーの開催（年2回）
- b. 組合員の顧客先等が扱う商品情報の収集と提供
- c. インターネットのホームページの保守と情報交換の事業

### 6. 各地保険代理業協同組合との情報交換の事業

### 7. 労働保険事務組合の運営と労働保険の普及事業

### 8. 組合員のためにする販売促進事業

市場開拓に関する情報の収集と提供

### 9. 組合員の福利厚生に関する事業

- a. 懇親会等を開催し、組合員間の相互の親睦を図る
- b. 組合員に対する慶弔見舞